ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)	区分・【新主題】/（分野）	授業形式
E132E004	国語科授業研究（中等）Ⅱ　(Studies in Teaching of Japanese LanguageⅡ(Junior High School))		

必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員
必修	2	4	教育学部 ≪平成３１年度以前入学生用≫			氏名　竜田徹 E-mail　　内線

授業の概要	「読むこと」（説明的文章、評論文・論説文）の授業をデザインするための基礎知識（目標・内容・方法・評価）の理解の上に、教科書教材を例にして授業構想と展開について、指導案作成や評価規準の作成及び模擬授業をとおして、国語科授業力の基礎を培う。

具体的な到達目標		DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標1	説明的文章教材・評論文教材を基にした中等国語科授業を構想することができる。			○								
目標2	指導案や評価規準を作成することができる。			○								
目標3	授業展開の技術の基本に基づき授業を展開することができる。			○								
目標4	生徒理解の充実を指導案に反映させることができる。		○		○							
目標5	他教科への応用を念頭に指導案を作成することができる。					○						
目標6												
目標7												
目標8												
目標9												
目標10												

授業の内容

1	ガイダンス　授業のねらい・内容・方法について
2	中等国語教科書に掲載された説明的文章、評論文・論説文と「学習の手引き」
3	単元構想の方法１　言語活動例と指導事項と教材との関連
4	単元構想の方法２　評価規準の作成
5	単元構想の方法３　ワークシート及び「手引き」等の作成
6	「読むこと」の授業構想１　グループによる作業
7	「読むこと」の授業構想２　グループによる作業
8	「読むこと」の授業構想３　グループ別発表と討議
9	単元の構想１　指導案と評価規準等の作成（個別）
10	単元の構想２　指導案と評価規準等の作成（グループによる検討）
11	単元の構想３　個別の指導案（評価規準等を含む）の作成
12	模擬授業１　２０分の模擬授業と質疑
13	模擬授業２　２０分の模擬授業と質疑
14	模擬授業３　２０分の模擬授業と質疑
15	学習のまとめ

アクティブラーニング			その他の工夫
A:知識の定着・確認	○	・指導プランの作成における質疑応答 ・ワークシート作成、手引き作成、評価基準作成それぞれに対しての自己評価・相互評価	
B:意見の表現・交換	○		
C:応用志向	○		
D:知識の活用・創造	○		

時間外学修の内容と時間の目安		
	準備学修	教材分析、それに関連する情報収集・整理。「評価規準の作成」についての文献熟読。(30h：毎回2h程度)
	事後学修	学習の記録と整理。(30h：毎回2h程度)
教科書		適宜プリントを配付する。
参考書		「中学校学習指導要領」、「高等学校学習指導要領」、「中学校学習指導要領解説　国語編」、「高等学校学習指導要領解説　国語編」、「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料【中学校　国語】」、「評価基準の作成、評価方法等工夫改善のための参考資料【高等学校　国語】」、「平成２４年版　観点別学習状況の評価規準と判定基準　中学校国語」

成績評価の方法及び評価割合

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
国語科単元学習指導計画	30%			○							
評価規準の作成	30%		○								
ワークシート・手引き作成	20%		○								
最終課題	20%	○	○	○	○						

注意事項	参考書は事前購入の必要はない。
備考	特になし。
リンク	URL